

# News Release

2019年9月26日  
NITE（ナイト）  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
製品安全センター（東京）

## リコール情報を見逃さずに事故を防ぐ ～関東甲信越における事故を中心に～

### 1. 関東甲信越地方のリコール後の重大製品事故

#### (1) 年度別事故発生件数と被害状況

2007年度から2018年度までの12年間でNITE（ナイト）が受付けた重大製品事故<sup>※1</sup>において、関東甲信越地方の1都9県（茨城県、群馬県、埼玉県、山梨県、新潟県、神奈川県、千葉県、長野県、東京都、栃木県）で発生したリコール<sup>※2</sup>実施後に発生した重大製品事故であり、かつ、事故の原因が製品起因による事故<sup>※3</sup>（以下、「リコール後の重大製品事故」という）は560件あり<sup>※4</sup>、うち火災事故は520件ありました。リコール後の重大製品事故について、関東甲信越の都県別の年度別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数を表2に示します。

※1 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故情報。

※2 事業者の製品安全を確保する活動のうち、消費生活用製品による事故の発生及び拡大の可能性を最小限にすることを目的とした、製品の回収、交換、点検、修理、注意喚起など。

※3 事故原因が製品の不具合や劣化によるもの。長期間の使用による経年劣化も含む。

※4 対象外情報を除いた事故発生件数。

表1. 年度別事故発生件数

	茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計
2007年度	7		4	7	4	25	2	2		1	52
2008年度	5	2	9	9	10	18	2	4	2		61
2009年度	3	1	5	9	4	18	3	2	2		47
2010年度	5	1	7	7	6	22	5	2			55
2011年度			7	13	5	24	2	1	3		55
2012年度	4	1	5	9	7	22		3	1	1	53
2013年度	3	4	7	9	5	21	3	2	2		56
2014年度		1	7	10	3	22	1	4		2	50
2015年度	1	4	5	4	2	21		3	2		42
2016年度	1	2	6	3	2	12	1	1	1		29
2017年度		2	3	8	8	14	1	2	2	1	41
2018年度			3	5	1	10					19
合計	29	18	68	93	57	229	20	26	15	5	560

表 2. 被害状況別事故発生件数<sup>※5</sup>

		茨城県	群馬県	埼玉県	神奈川県	千葉県	東京都	栃木県	長野県	新潟県	山梨県	合計	
被害状況	人的被害	死亡								1		1	
		(内数)火災事故											
		重傷			7	5	6	15	2	3	1		39
		(内数)火災事故						(1)					(1)
		軽傷	2	1	2	3	2	8					18
	(内数)火災事故	(1)	(1)	(2)	(3)	(2)	(8)					(17)	
	物的被害	拡大被害	3	10	30	48	28	111	10	14	8	3	265
		(内数)火災事故	(3)	(10)	(30)	(48)	(28)	(111)	(10)	(14)	(8)	(3)	(265)
		製品破損	24	7	29	37	21	95	8	9	5	2	237
		(内数)火災事故	(24)	(7)	(29)	(37)	(21)	(95)	(8)	(9)	(5)	(2)	(237)
合計		29	18	68	93	57	229	20	26	15	5	560	
(内数)火災事故	(28)	(18)	(61)	(88)	(51)	(215)	(18)	(23)	(13)	(5)	(520)		

※5 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(2) リコール後の重大製品事故の製品別事故発生件数

リコール後の重大製品事故の事故発生件数の多い上位10製品を表3に示します。

表 3. 事故発生件数の多い上位10製品

品名	件数
電気こんろ	76
電子レンジ	48
電気ストーブ	39
エアコン	39
石油ふろがま	38
洗濯機	32
石油給湯機	32
冷蔵庫	31
パソコン	24
扇風機	20

### (3) 関東甲信越地方において発生したリコール後の重大製品事故の事例

#### ① 冷蔵庫

- ・ 2018年7月、東京都、製品破損

(事故内容)

冷蔵庫の内部を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

冷蔵庫のコンプレッサー始動用に使用されている始動リレー(起動用電気部品)内のPTC素子(電流を制御する部品)の品質にばらつきがあること等により発熱故障し、始動リレー内部で発煙・焼損したものと考えられる。

なお、製造事業者(シャープ株式会社)は、2012年4月16日にホームページに情報を掲載するとともに、翌4月17日に新聞社告を行い、対象製品について、無償点検・部品交換を実施している。

#### ② 電気ストーブ

- ・ 2018年12月、埼玉県、製品破損

(事故内容)

電気ストーブの電源を入れたところ、当該製品を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

電気ストーブの強弱切替え用に使用されているダイオードが不良品であったことにより、ダイオードが異常発熱し、出火したものと考えられる。

なお、輸入事業者(ユアサプライムス株式会社)は、2016年3月19日よりホームページに情報を掲載し、新聞社告を行うとともに、販売店への協力要請やテレビCM放送等による注意喚起を行い、対象製品について無償点検及び修理を実施している。

#### ③ ノートパソコン

- ・ 2018年8月、埼玉県、拡大被害

(事故内容)

ノートパソコンのACアダプター及び周辺を焼損する火災が発生した。

(事故原因)

ACアダプターのDCプラグ樹脂において、難燃剤に使用されていた赤リンの耐水性に不具合があったため、湿度の影響でリン酸が生じて端子金属から銅が溶出し、端子間が短絡して異常発熱が生じ、出火に至ったものと推定される。

なお、輸入事業者(東芝クライアントソリューション株式会社)は、2018年6月22日にホームページに情報を掲載するとともに、同月25日に新聞社告を行い、パソコンに同梱またはオプションとして販売、修理交換された対象ACアダプターの無償交換を行っている。

## 2. リコール製品の事故の再現実験映像について

以下の映像をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### (1) 実験映像内容

- ① 誤って電気こんろのスイッチが入り、こんろ上の可燃物が発火  
(2. (2) 写真1)
- ② 自転車のハンドルがロックし、転倒 (2. (2) 写真2)

### (そのほか)

- ③ はしごが縮んで、挟み込みや転落
- ④ 石油給湯機から煙

### (2) 実験映像例

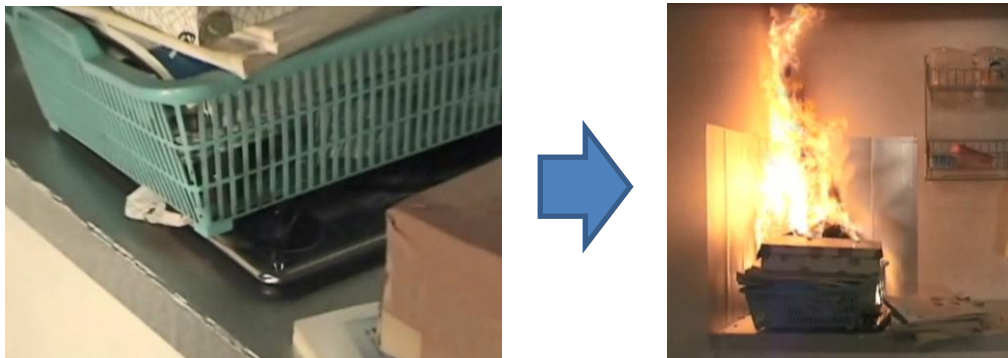


写真1. 誤ってスイッチが入り、こんろ上の可燃物が発火



写真2. ハンドルがロックし、転倒

(本件に関する問い合わせ先)

〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター 技術業務課

担当者：松本（まつもと）、長谷川（はせがわ）、佐藤（さとう）

電話：03-3481-1820